

# 事例名:「コンビナート製造現場中核人材育成事業」の推進

## 機関及び連携機関

財団法人岡山県産業振興財団  
社団法人山陽技術振興会  
国立大学法人岡山大学  
国立大学法人山口大学  
山口県周南地域  
岡山県水島地域

## 功労者

社団法人 山陽技術振興会 副会長 池上 正

## 事例の概要

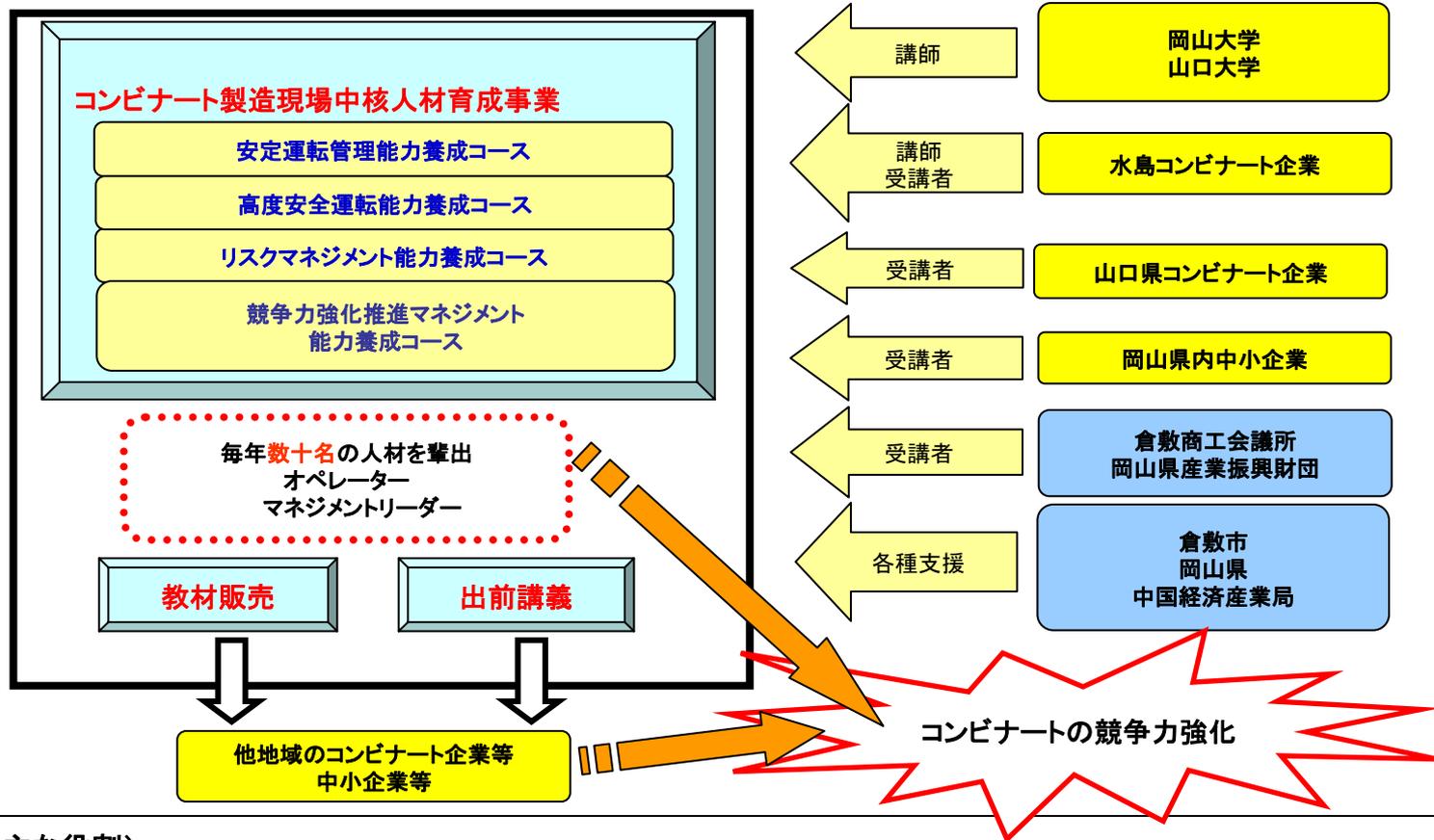
- ◎2007年以降、経験豊富な人材(団塊の世代)が大量に定年を迎えるため、製造現場の技術・ノウハウの伝承に黄信号が点るなど、水島地区コンビナートにおける製造現場の人材育成を強化することが喫緊の課題となっていた。
- ◎そこで、コンビナート製造現場向けの教育システム(カリキュラム、教材)を開発し、高度な知識と技術を有する製造現場の中核人材を効果的かつ効率的に育成することにより、コンビナートの安定、安全かつ高度な運転を実現し、コンビナートの持続的な発展と国際競争力の強化を図った。
- ◎水島コンビナート企業が蓄積してきた製造現場の技術的なスキルやノウハウと岡山大学、山口大学が保有する原理原則に関する高い知見及び教育的手法・理論を結合し、産学が共同して、製造現場のニーズである、①人材育成のスピードアップ、②技術・技能の確実な伝承、③運転・安全技術の高度化への対応を踏まえ、『高度運転・安全能力、緊急時対応能力に優れたオペレーター』、『製造現場リスクとコンビナート全体最適化をマネジメントできるリーダー』を育成する実践的なカリキュラム・教材を岡山大学及び山口大学と連携して、安全運転管理能力養成コースや高度安全運転能力養成コース等のカリキュラムを開発した。
- ◎池上氏は、本事業のコーディネータとして、両大学及び水島コンビナートに立地する複数の企業、山口県周南地域の企業等の橋渡し役を果たし、企業ニーズや現場状況にマッチした、大学の知見を活用したカリキュラム開発に貢献した。

## (特筆すべき事項)

- ◎コンビナート立地の多数企業の現場状況やニーズを的確に把握し、事業に反映した。
- ◎大学の高度知見による原理・原則に裏付けされたカリキュラムを確立した。
- ◎製造現場での実機体験やシミュレーション疑似体験等の内容を盛り込んだカリキュラムとしたことで、実践的な教育内容にできた。
- ◎本人材育成事業の普及で、事故・災害の未然防止が確保できたとともに、企業のコンプライアンス強化に大きく貢献できた。
- ◎千葉、大分等他地域のコンビナート及び県内中小企業の人材育成に応用できる内容とした。

## 具体的成果等

- ◎平成20年から自立化し、(社)山陽技術振興会が事業を推進している。
- ◎県経済を支える水島コンビナート企業の経営力強化に貢献している。
- ◎千葉等他地域のコンビナートとの連携を図っている。
- ◎確立したカリキュラムをリメイクし、地域中小企業向けカリキュラムの開発も推進している。



### (功労者の主な役割)

- ◎事業推進時は、大学、企業、支援機関の橋渡し役を果たした。
- ◎山陽人材育成会を組織するなど本事業の自立化に貢献した。